

保護者・地域のボランティアによる安全活動事例

前回に引き続き、子どもの安全を守るための地域ぐるみの取組を紹介します。活動事例を参考にいただき、地域ぐるみの安全の取組を推進してください。

※ 学校・園や地域での取組事例を当事務局（体育健康教育室学校安全担当）までお知らせください。

●百々小学校

平成16年9月から、地域の有志の方々を中心に「パトロール百々」を結成。「パトロール百々」のネーム入りの帽子をかぶり、登校時には交差点や門のそばに立ち、下校時にも門の近辺や周辺をパトロールするなどの活動を続けている。

●御室小学校

御室交通安全推進会の方々による「笑顔でおかえりキャンペーン」を実施。新1年生の下校時に、学校から家までの下校指導を行っている。また、登校時には、通学路の2カ所で、当番の保護者と管理職により、交通整理と朝の声かけを兼ねた安全指導を実施している。

●南太秦小学校

一昨年12月の宇治小事件を受け、子どもたちの安全を見守るため、PTA会長、自治連会長や各種団体長と協議のうえ、「子ども見守り隊」を結成。約100名の方々の参加のもと、それぞれ自分の自由時間や外へ出る機会を利用して子どもたちを見守る活動を続けている。

●宇多野小学校

平成16年度から、子どもたちの下校時における安全確保のために、地域ボランティアと防犯推進委員の方々との協力による「うたのバトロール隊」を結成。現在、約50名の方々により、毎日、午後2時30分頃から約2時間、校区内の通学路を分担してパトロールを実施している。子どもたちは、地域の方々に見守られているという安心感に包まれて下校している。

●醍醐西小学校

保護者の有志で作る「すずらんボランティア」による地域パトロールを実施。学校の長期休業中や土・日曜日など教職員がパトロールしにくい時間帯を中心に、数人がグループになって「醍醐西地域パトロール」の腕章をつけ、隣接する大型スーパーや飲食店街地域内の公園などを見回っている。

小学生の“ぼうさい探検隊”マップコンクールで受賞！

ユネスコ、朝日新聞社、日本損害保険協会などが主催する「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」に応募した第四錦林小学校が「吉田見守り新聞」でユネスコ賞を、白川小学校が「白川キッズあんぜんたい」で審査員特別賞をそれぞれ受賞しました。

第四錦林小学校は4年生の社会科、白川小学校は2年生の生活科の授業の中で安全マップづくりの活動をしました。



「白川キッズあんぜんたい」



「吉田見守り新聞」